



パワー

(電力・動力)

2015

春

株式会社 ホンマ電機

情報紙69号

発行所 株式会社 ホンマ電機
神奈川県相模原市南区上鶴間1丁目12-1
電話 042(746)1616(代)
ホームページ [ホンマ電機](http://www.honma-denki.co.jp) 検索
発行責任者 本間俊三

おかげさまで40周年

理念の変遷

ホンマ電機の前身「本間電気設計事務所」を現社長が創業したのは昭和48年2月。場所は現在地より南側の深堀川に沿った住宅街の中、平屋の一軒家であった。

電気工事の下請け

当初は、仲間の電気工事業者から図面や申請書類などの作成を依頼されていたが、次第に工事も手掛けるようになり、昭和



直接のお客様

主な取引先は、同業仲間の下請けという間接的なものから、工場や店舗、病院などの直接取引へと変わっていった。これには前述の電気管理技術者との縁が大きく作用し、自家用設備取引の増加につながった。また、顧客と直に接することで、要望

50年11月に電気工事会社として法人化した。当時は従業員2人、オイルシヨックの影響がまだ尾を引いていて、経営的に一番苦しい時期だったと思う。

小規模工事の事務処理システム

このような経緯から、弊社は、同業他社とは少し違った道を歩むようになった。この道を進むには、小規模工事を数多く手がけなくてはならず、工事の手配や管理、あるいは事務管理などでもとても煩雑になるという大きな課題があった。しかし、社内のIT化と、独自のシステム開発でこの課題はほぼ解決できた。

営業部門

発足当初から弊社は、営業活動らしいことを行ってこなかった。それは固定客に安住していたのかも知れない。しかし、取引先の大多数であった製造業が

や期待を直接感じ取ることができ、それに応えられたときには大きな喜びを味わうことができた。

円高などの影響を受け、統廃合や海外移転で減少するにつれ、商業施設や高齢者施設、集合住宅施設などへと顧客層が変化していった。変化への対応に迫られ弊社も、今は新規顧客開拓のための営業活動を展開している。

大災害時の事業継続(BCP)

このように、顧客とじかに接することが多いため、顧客のカルテは大事である。工事や修理の履歴はデータで保存し、いつでも探し出す事ができ、お客様の役にたてるようになっていく。更にこの度は事業継続計画(BCP)に取り組み、社内でのデータのバックアップはもちろん、遠隔地にもバックアップをとっている。今後はデータだけでなく、緊急事態発生時にはお客様の設備復旧に資するため、人員、技術、資器材の充実も重要な課題と考えている。

環境認証

更に、3年前に認証取得した「エコアクション21」は、企業活動から発生する温室効果ガス削減、つまり省エネを目指すものであるが、取り組みの効果として、省資源、節約、省エネ提案等は経営改善にも資するものであることに気がついた。



小さな工事も心をこめて

今では、金額に大小はあるが、1年間に800社を超える取引先様にお付き合いをいただいている。そして作業の年間件数は2000件を超える。小さいものは数千円の物件もあるが、金額の大小ではない。一つ一つに心をこめて、お客様に満足していただくようこれからも努めてまいります。

ホリマ

65 近況報告

◆事務所一部拡張

社員が増えたことにより、事務所が手狭になった。特に、納品業者との商談、現場作業員のパソコン入力業務スペースの確保が急務であった。今回、3坪ほどではあるが拡張することが、業務の利便性が上がった。



新設した商談室

◆事業継続計画(BCP) — 手始めにデータ保全策完了

企業が自然災害、大規模火災等の緊急事態に備えることは、3・11以降に注目が集まってきた。弊社も、事業継続に重要度の高いものを検討した結果、お客様に関する作業経歴、顧客カルテ等のデータであることから、次の対応をとった。



サーバーとハードディスク(更に遠隔地にバックアップハードディスク)

まず、データは信頼性の高いサーバーに保存、かつ外部ハードディスクにバックアップをとる。さらに、遠隔地にも一つバックアップを取ることにした。

弊社にとって、データの保存が生き残りに必要であり、ひいては、お客様にも役立つと考え、最初に対策を立て1月下旬に完了した。

◆恒例の餅つき

12月28日、1年の締めくくりとしての餅つきパーティーが駐車場で行われた。仕事納めと社員の慰労を兼ねたもので、20年以上続いている。今年は若手社員が増えたため、20キロの餅はわけなくつきあがり、家族も加わっていつそう楽しく盛り上がった。



つきたての餅は格別。家族も加わりいっそう楽しく



「50年記念」は、今こそ「ホリマ」の歴史を振り返り、未来を展望してまいります。

相模原 地域ネットワーク



弊社は、設立以来地域とのかかわりを大切にしてきました。たとえば近隣自治会との関係では、防犯灯の維持管理で12の自治会とお付き合いを頂き、メンテナンスを行っている。

ボノノ広場にクリスマスツリー

また、自治会の夏祭りや近隣神社の祭礼における照明工事などは、創業以来のお付き合いを頂いている。そんな御縁もあって、相模大野西口再開発地域にオープンした住宅・商業施設「ボノノ」広場のイルミネーション電気工事にもお手伝いさせて頂くことができた。写真は、昨年11月6日に完成した高さ7メートルのクリスマスツリーで、12月25日まで広場を飾り、さまざまなクリスマスイベントが行われた。

■「こどもといっしょよフェス」(14年6月)
相模原市在住のママさん達が集まり、小さなお子さんと一緒に楽しむイベント。協賛会社や会場に出店するお店を募るのも、広場ステーションの出展者調整などもすべてママさん達主導で行いました。出店したお店では、お弁当やお菓子、手作りの雑貨などが販売され、広場ステーションではママさんの本格的な歌が披露されるなど、子供たちと楽しい一日を過ごしました。

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

■「もんじえ祭り」ボノノ会場(14年8月)
昨年は、ボノノ広場が正式に「もんじえ祭り」の第二会場(ボノノ会場)となり、

都県をまたいだ特別警戒

一 町田市・相模原市・町田警察署・相模原警察署・市民団体 一
5者共催による『町田駅周辺合同歳末特別警戒』

町田駅周辺は、戦後間もなく特殊飲食街として発展し、近年まで売春街として知られ犯罪多発地区であった。この地は、町田市と相模原市との境界であり、東京都と神奈川県との境界でもある。2008年暮れから始まった町田市と相模原市及び町田警察署、相模原警察署、市民団体の5者共催による『町田駅周辺合同歳末特別警戒』が年末に行われた。



開会式での5団体(石坂町田市長・加山相模原市長・本間市民代表・金子町田警察署長・大越相模原南警察署長)

また、自治会の夏祭りや近隣神社の祭礼における照明工事などは、創業以来のお付き合いを頂いている。そんな御縁もあって、相模大野西口再開発地域にオープンした住宅・商業施設「ボノノ」広場のイルミネーション電気工事にもお手伝いさせて頂くことができた。写真は、昨年11月6日に完成した高さ7メートルのクリスマスツリーで、12月25日まで広場を飾り、さまざまなクリスマスイベントが行われた。

今回の歳末警戒は、2001年から始まった「JR町田駅南口風俗街撲滅運動」に端を発する。これまで幾度となく警察による取締を重ねてきたにもかかわらず、下火と復活を繰り返してきた。2001年からは行政と警察そして市民が一体となった活動が始まり、2008年には継続的取締りが功を奏して、風俗街はほぼ壊滅した。以後市民の活動目的は、「後戻りさせない」を目標にしてきた。市民と警察そして行政が一体となることで、不可能と言われた風俗街撲滅が果たされた。この体制をいつまでも続けることが、安全な街づくりの基本との理念から歳末警戒パトロールは続けられている。



参加者は5団体合計260人



買い物客に防犯を呼びかけながら繁華街をゆく

企業ルポ

お客様紹介 68



東日本急行株式会社 南関東営業所

南関東営業所 〒243-0417 海老名市本郷 2689-1

TEL 046-237-1975

FAX 046-237-1977

URL <http://www.hnk-exp.co.jp/index.html>



南関東営業所 (南関東第1営業所)

- 設立: 昭和46年5月
- 代表取締役社長: 陣場 留夫氏
- 資本金: 4千万円
- 本社: 東京都大田区北1-16-6
- 事業内容: 総合物流業(運輸・倉庫業、PCおよびアミューズメント機器の設置~メンテナンス)
- 従業員数: 200名
- 車輛台数: 25トントレーラー2台・大型車15台・大型ユニック車2台・4トン車37台 ほか 全166台
- 営業所数 23

東日本急行株式会社は、関東・甲信越・中国・九州を営業区域とする、運輸・倉庫業を営む会社です。

東日本急行には、運輸・倉庫業では珍しい、技術サービスを行なう「技術部門」があります。個人・企業向けパソコンおよび大型アミューズメント機器のセットアップ・メンテナンスなどの作業を輸送・保管事業に加え、包括的に事業を行なっています。

輸送サービスに関しては、商品特性に最適な輸送手段を選択し、お客様のコスト削減を提案。また、スピーディかつ安全に配送するのはもちろんのこと、配送先での組み立て・取り付けなどの加工作業まで行なっています。

物流センターは10拠点あり、企業向けの商品保管を行なう営業倉庫として利用することができ、入庫作業・仕分け・梱包などの加工作業も行なっています。

東日本急行は全国に23の営業所がありますが、ここでは、ホンマ電機が倉庫

の冷暖房設備の工事に携わらせていただいた、南関東営業所を紹介します。

南関東営業所は、海老名市の工業地域特別営業地区にあり、東名高速道路・厚木ICから約4km、圏央道・海老名北ICから約3kmという場所にあります。海老名には、本郷に第1営業所(倉庫面積約2000坪)・第3営業所(約300坪)、社家に第2営業所(約1000坪)があり、南関東営業所はその三つを統括管理しています。従業員は約50人、全社の中でも大きな営業所といえるそうです。

営業所の中は、運送部門・倉庫部門・技術部門に分かれています。会社の大きな特徴と言える技術部門があるのは南関東営業所だけのこと。この部門は社内で

も特殊なことから「アミューズメント事業部」と名づけられています。

アミューズメント事業部は、ゲームセンター向けの機械を、「運ぶ」「預かる」だけではなく、「部品を組み立てて設置する」「分解して引き取り倉庫に運ぶ」ということまでを行なっています。「こんな会社があったらいいな」というお客様の声を聞き、2005年に創設され、今年で9年になるそうです。事業部の人員は現在10人、技術に強い社員を集め、他の会社にはないサービスでお客様のニーズに応え、喜んでいただいているということです。



第3営業所と車輛



第1営業所の倉庫内部